

農業技術 プリズム

加工業務用（ソテー用）タマネギの多くは中生～晩生種（播種はしゅう時期9月下旬、定植時期11月下旬～12月中旬、収穫時期5月中旬～6月上旬）が主に栽培されて、10㎡当たり出荷収量8t確保と2L・L収量の確保を目標としています。

諫早湾干拓地は大規模営農のため、一時期に労働力が集中します。また、育苗時期が台風のシーズンと重なるため、露地育苗において、強風・豪雨で苗が確保できなくなる可能性があります。そこで無

タマネギの2月定植

無加温ハウスで育苗 労働力集中の解消へ

晩生品種の「もみじ3号」を用いて、6条の手植えで標準作型の9月下旬播種、12月中旬定植と無加温ハウス利用

加温ハウスで育苗し、労力分散・台風事後対策技術として、無加温ハウス育苗2月定植の可能性を検討しました。

定植時期別の収量比較



の10月下旬播種、2月定植で調査しました。無加温ハウスに10月下旬に播種し、2月下旬までに定植すれば、2L・L収量は低くなりますが、総収量は高くありません。無加温ハウス10㎡当たり8t確保ができません。研究員 織田拓 主任

耕種概要: 黒マルチ栽培 供試品種: 「もみじ3号」
栽培密度: 4万本/10a (6条植え 条間15cm 株間10cm)
施肥量: N-27kg/10a (硫安13.5kg/10a 菜種油かす13.5kg/10a)